

## 厳 しい 時 代

「独立行政法人になって何が変わりましたか」と時々聞かれる。こういう質問するのは、日頃仕事でつきあいのある方々に多い。そうでない人たちにとっては「独立行政法人？何それ」という反応が圧倒的なので、こっちの方には「リストラみたいなのですよ。別会社というより子会社かな。何せ受注の多くは親会社の仕事でしてね。」と冗談交じりに話したりしている。最初の質問には「いまのところそれほど大きな違いはないのですが、やはり別組織になりましたので、手続き的なものが簡略化されたり、かえって仕事がやりやすくなった面もあります。しかし、外部評価とか、存在意義を問われる場面が多くなりますから、民間会社と同じようにこれからは大変ですよ。」といった調子ですまして答えている。

居酒屋の注文ではないが、とりあえずはこんな答え方でも当たらずとも遠からずといったところであろう。仕事の大筋が変わったわけではなく、親会社との対応もそう変わっていないので（でも当方の口調は多少変化して謙っているかも）、この点で変化を自覚するというのは少ないかもしれない。しかし、これを機会に求められているのは、仕事の合理化、効率化であると思われるので、この点はがんばらなくてはいけないところである。

言うまでもなく世の中は不況で厳しい時代である。とくに土木関係はちょっと先行きが暗そうである。時候の挨拶がわりに厳しい時代ですねといった話が出てくるのも、いいかげん終わりにしたいところだ。こういった雰囲気は新たな技術開発、研究への意欲を鈍らせるのも勘弁してほしい。しかし、人々が生活していく限り、社会基盤の整備、維持ということは必要だろうから、研究室の役割も多少の修正があるにせよ続いていくものと思っている。

研究室としては、次に必要とされるものは何かを探す作業が不可欠と思っている。同時にその課題を仕事して成立させる作業も必要で、併せると営業活動ということになる。幸いにして研究室の皆さんにはこの営業活動を自覚的にやってもらっている。研究室という零細企業の親方としてはありがたいことだ。ちょっと締まりのない話になってしまったが、零細企業は元気よく活動していきますということである。

(土質基礎研究室長 西川 純一)

\* \* \* \*

表紙右上記号 ISSN 1346-6747の説明

ISSNはInternational Standard Serial Number(国際標準逐次刊行物番号)の略で、逐次刊行物に付与される国際的なコード番号で、ISSD(国際逐次刊行物データシステム)という組織のもとで逐次刊行物の組織や検索に利用されます。

この番号は国立国会図書館ISSD日本センターから割り当てられたものです。